

平成29年度放課後等デイサービス自己評価表
放課後等デイサービス(重症心身障害児対応)るんるん

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	80%	20%		法定基準に合わせたスペースになっています。
	② 職員の配置数は適切であるか	60%	40%		法定基準に合わせた職員の配置になっています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	80%	20%		随時、マニュアルに沿って安全で清潔な備品を検討しています。 今後、障害種別において更に配慮して備品を増やしていきたいと思いをします。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10%	70%	20%	今回の自己評価表、ヒヤリハット事例集他、今後、業務改善のために、PDCAサイクルによる取り組みを積極的にしていき、職員で共有したいと思いをします。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			保護者向けの評価表をまとめたので、今後の業務改善につなげていこうと思いをします。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	40%	40%	20%	現在は利用者、保護者による評価をしていますが今後、第三者評価を実施していきたいと思いをします。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			法人研修、事業所研修共に、内部、外部の講師をお迎えして障害理解、子育て支援、高齢者介護、感染症予防、防災、コミュニケーションについて他、様々な研修を行っています。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	90%	10%		相談支援事業所の作成した利用計画や、保護者とのケース会議や面談、また送迎時の聞き取り、連絡帳、また、児童の様子や家庭の状況に合わせて整理し、計画を作成しています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか				るんるん独自のアセスメントシートを使って児童や保護者のおかれる環境についてアセスメントしています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	60%	40%		るんるんの年間療育計画をもとに平日や長期の立案を会議をして決めています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	60%	40%		長期休み、平日、季節に合わせて個々や集団で楽しめるプログラムを工夫して活動しています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	70%	30%		長期休暇、平日、個人の体調に配慮しながら個別支援計画や機能訓練の目標を無理なく支援しています。
⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	80%	20%		児童の発達や体調に合わせて個別や集団の計画を作成しています。	

適切な支援の提供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行わせる支援の内容や役割分担について確認しているか	90%	10%		法人全体での朝礼時、また、その後、昨日を振り返り、気付きや反省をし、支援を確認、共有しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	50%	40%	10%	職員の帰宅時間が様々なので、主に、朝の出勤時に昨日の振り返りをし、気付いた点を共有しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげているか	70%	30%		支援の記録を日報と個別記録に毎日つけて、モニタリングし、支援を見直しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			個別に保護者と面談をしたり、担当者会議に参加して、半年に一回、又は成長の様子にて随時、支援計画の見直しをしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	70%	30%		基本的な役割や、基本姿勢などを組み合わせて支援に取り組んでいますが、今後更に職員への理解を深めて支援をしていきます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			児童発達支援管理責任者と、看護師が参画しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			日々、連絡調整をしていますが、授業参観や学校の行事などに参加したり、先生方に事業所に来て頂き参観をして頂いたり、担当者会議にて情報共有しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	100%			親御さんを通して連絡体制を整え、指示書に基づき医療的ケアを行っています。また、顧問医や看護師等の連携を行っています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	80%	20%		主に担当者会議の中で情報を共有し、発達や支援について相互理解をしています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	80%	20%		障害福祉サービスに移行する前に、密に情報提供をしています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	60%	40%		必要な時に外部や内部研修を受けています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	80%	20%		法人や事業所で行う交流会に地域や利用者家族、兄弟を招待したり、小中学生、高校、大学生等のボランティアを受け入れたり、地域で開かれるイベントなど参加しています。また地域の公園、児童館などにも積極的に行き交流をしています。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	60%	40%		放課後等デイサービス・児童発達支援事業所との連絡会や協議会等に参加しています。
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通の理解を持っているか	80%	20%		利用日の送迎時や連絡ノート、又は随時電話などで保護者と連絡を取り合っています。また、モニタリング時に成長の経過や課題をキューブ認識しています。	

	⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	10%	70%	20%	利用日の送迎時、また、連絡帳、また、電話相談など随時子育てについて相談をし、対応力の支援をしていますが、ペアレントトレーニングなどの講座は今後行っていききたいと思います。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に必ず説明を行っています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			面談やモニタリング時、また利用日の送迎時、連絡帳、また、電話などで、随時子育て相談を受け上限しています。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		50%	50%	今後、保護者会やペアレントトレーニングなどを開催して父母間の連携がとれるようにしていきたいと思っています。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	90%		10%	事業所と障害者福祉課の苦情の窓口受付を作り、随時対応しています。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	90%		10%	法人の会報や、事業所ごとのブログなどを発信しています。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	90%	10%		関係機関に児童や保護者に関する情報を提供する場合、また、会報やホームページに写真や名前を掲載する場合には、保護者の承諾を得て、あらかじめ、契約時に文書で保護者の同意を頂いています。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	90%	10%		障害種別や個々の発達の様子により情報伝達の配慮をしています。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	100%			バザー、夏祭り、季節の交流会などで地域住民、利用者、職員など、皆が楽しめるよう地域に根差した事業運営をしています。
非常時等の対応	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	90%	10%		緊急、防犯、感染症マニュアルを策定し書面にて周知していただいておりますが、職員には研修にて、再度、意識を高めていきます。
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	90%	10%		法人全体の避難訓練、また、事業所ごとの避難訓練をしています。
	㊱	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	90%	10%		虐待については、今後、更に意識を高めて外部や内部の研修をしていき、虐待防止への取り組みをし、制度を職員で共有していきたいと思っています。
	㊲	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	60%	40%		現在は身体拘束が必要だと思われることがないので、記録はありませんが、必要に応じて、やむを得ず身体拘束を行わざるを得ない場合は事前に十分説明をして了解を得ていきたいと思っています。
	㊳	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			医師の指示書に基づき個別に対応しています。
	㊴	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	80%	20%		ヒヤリハットの事例があった時には記録し、職員間で共有をしています。今後は事例集を作り、職員間でもっと共有したいと思っています。